

お客様各位

2025 年 11 月 26 日
北興化学工業株式会社

変更登録のお知らせ

平素より弊社製品をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。
この度、下記農薬の適用が変更登録されましたので、お知らせ致します。

農 薬 名

第24956号 ワイドパワーフロアブル

変更の内容

適用作物名「直播水稻」を追加し、【変更後】のとおりとする。

【変更後】

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量		本剤の 使用回数	使用方法
			薬量	希釈水量		
移植水稻	一年生雑草 多年生広葉雑草	移植後 20 日～ ノビエ 6 葉期 但し、収穫 45 日前まで	500 ml/10 a	100 L/10 a	1 回	落水散布 又は ごく浅く 湛水して 散布
<u>直播水稻</u>	一年生雑草 ホタルイ ウリカワ ミズガヤツリ ヒルムシロ セリ	稲 5 葉期～ ノビエ 5 葉期 但し、収穫 45 日前まで				

ペノキスラムを含む農薬の総使用回数	ベンタゾンを含む農薬の総使用回数
2 回以内	2 回以内

農薬の使用上の注意事項

(人畜に有毒な農薬については、その旨、使用に際して講ずべき被害防止方法及び解毒方法を除く)

【変更後】

7. 農薬の使用上の注意事項 (8に掲げる事項を除く。)

- (1) 本剤は貯蔵中に分離することがあるので、使用に際しては容器をよく振ること。
- (2) 散布液調製後はできるだけ速やかに散布すること。
- (3) 薬害のおそれがあるので展着剤は添加しないこと。

- (4) 本剤は水の移動に伴う移行性が大きいので、一般に水深が浅いほど効果が安定する。
- ① できるだけ落水状態（足跡に水が残っている状態）にして、水の出入りを止め、まきむらのないように均一に散布すること。
 - ② 水を落とすことができないところでは、漏水のない水田に限り、できるだけ浅水状態（雑草が水面上にでる状態）にしてまきむらがらないように均一に散布すること。
 - ③ 散布後2日間はそのままの状態を保ち、入水、落水、かけ流ししないこと。
また、散布後7日間は降雨の有無にかかわらず落水、かけ流しはしないこと。
 - ④ 処理後2日以内に降雨があると効果が不十分になるおそれがあるので、晴天の持続する時の使用が望ましい。
- (5) 前処理剤との体系で使用し、雑草の発生状況をよく確認し、時期を失しないように適期に散布すること。
- (6) 本剤を移植水稲に使用する場合は、ノビエの6葉期までに時期を失しないように散布すること。
なお、多年生雑草は生育段階によって効果にフレが出るので、必ず適期に散布するように注意すること。
ホタルイ、ミズガヤツリは草丈20cmまで、ウリカワは4葉期まで、オモダカは矢尻葉5葉期まで、クログワイ、シズイ、コウキヤガラは草丈30cmまで、ヒルムシロは発生盛期まで、セリは増殖期までが本剤の散布適期である。
- (7) クログワイ、オモダカ、シズイ、コウキヤガラの防除は、必要に応じてそれぞれの雑草に有効な前処理剤と組み合わせて使用すること。
- (8) 本剤を直播水稲に使用する場合は、ノビエの5葉期までに時期を失しないように散布すること。
なお、多年生雑草は生育段階によって効果にフレが出るので、必ず適期に散布するように注意すること。
ホタルイは草丈27cmまで、ミズガヤツリは草丈35cmまで、ウリカワは7葉期まで、ヒルムシロは発生期まで、セリは増殖期までが本剤の散布適期である。
- (9) 本剤を直播水稲で使用する場合は、稲の根が露出する条件では、薬害を生じるおそれがあるので注意すること。
- (10) 砂質土及び漏水のはげしい水田では使用しないこと。
- (11) 軟弱稲もしくは5葉期末満の稲では薬害のおそれがあるので使用はさけること。
- (12) 薬害のおそれがあるので重複散布をさけること。
- (13) 高温条件下では、薬害が生じやすいので異常高温下での散布はさけること。
- (14) 本剤の使用後に低温が続くと予想される場合には、稲に生育抑制などの薬害が発生するおそれがあるので、使用をさけること。
- (15) 本剤はその殺草特性から、いぐさ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害するおそれがあるので、これら作物の生育期に隣接田で使用する場合には、十分注意すること。
- (16) 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意するほか、別途提供されている技術情報も参考にして使用すること。特に初めて使用する場合や異常気象の場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

変更登録後の製品情報の詳細はこちら（[農薬製品・安全データシート（SDS）一覧](#)）からご参照ください。

以上